

学期	学習内容			評価の観点と評価規準				
				知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
領域・題材	指導目標	指導内容	知識(知)	技能(技)	発想・構想(発)	鑑賞(鑑)	表現(態表)	鑑賞(態鑑)
1	オリエンテーション	美術に対して心構え、因工と美術の違いを理解する	中学生として美術の学習のあり方の理解する	形や色などの組み合わせが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、描かれた感情や思いを全体のイメージで捉えることを理解している。	材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	自分の感情や思いなどから主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	見えないものを形や色であらわした作品のよさや美しさを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自分の感情や思いから発想を広げ、作品にあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。
	「自己を紹介」 色彩について モダンテクニック ポーリングアート	色彩論を楽しく学び色を知る ワークシートより自分の色を発見しその色を調べ表現する	色彩の基礎を身につける 絵の具の新しい表現と色の響きあいを知る					美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作者の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	「手形の自己紹介(平面構成)」	画面構成と配色バランスの構築 美術を学ぶ意識を高め、表現をすこしの意義を理解し、主題を生み出し、構成や手順、表現方法を工夫して表現する	色を整理し理解することにより改めて理解し、形や色の組み合わせ方や構成などを工夫して制作する。					美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自分の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	日常のアートな一枚(写真) その1	日常改めてて見つめ、感じ取った形や色彩の特徴、場所のイメージから主題を生み出し、構図や表現方法を工夫し写真に表現する。	見慣れた情景から気になる場所やものを見つけ出し、感じ取った形や色彩の特徴や場所のイメージから主題を生み出し、構図や表現方法を工夫し写真に表現する。	形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。	被写体の捉え方、見せ方など意図に応じて工夫して表している。	身近な場所を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、場所のイメージなどを基に主題を生み出し、構図などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近な場所の特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。
	鑑賞 「絵画を観る」	美をつくりだそうとする人間の心、美の多様性や永続性などについて考え、感じたことや考えたことを話し合い、他の考えに開心をもち、作品の見方を深める。	作品が描かれた背景や作者について知り、美術文化への見方や感じ方を深める。作品を見たときの感動をしっかりと文章化して伝える。	形や色彩などの性質や、それらが感情にもたらす効果をもとに作品について全体のイメージや作風で捉えることを理解している。			作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作品が描かれた背景などをもとに、当時の作者の表現の意図や工夫を考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に新たな創造を目指した作者の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
2	「漢字アート～創作絵文字を描く～」 名前をレタリング	明朝体、ゴシック体等レタリングの基礎を学び改めてデザインを理解し表現する。	自分の名前をテーマに名の由来を含めた漢字の持つ意味を生み出し、表現方法を工夫して、形や色、構図などの構想を工夫し制作することで、心を豊かにするデザインの役割を工夫し表現する。	形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などをもとに、全体のイメージで捉えることを理解している。	紙や用具の使い方などを身につけ、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考え、見通しをもつて表している。	構成や装飾の目的や条件などをもとに、材料の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練っている。	目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい、構成や装飾の目的や機能などを考えた表現の学習活動に楽しく取り組もうとしている。
	「絵文字」 自分の名前の1文字を絵文字にする	相手を意識した上で漢字1文字の意味から主題を生み出し、見せる意識を理解し、形や色、構図などの構想を練り、工夫して制作する。						美術の創造活動の喜びを味わい、構成や装飾の目的や機能をもった作品の鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。
	日常のアートな一枚(写真) その2	日常改めてて見つめ、感じ取った形や色彩の特徴、場所のイメージから主題を生み出し、構図や表現方法を工夫し写真に表現する。	見慣れた情景から気になる場所やものを見つけ出し、感じ取った形や色彩の特徴や場所のイメージから主題を生み出し、構図や表現方法を工夫し写真に表現する。	形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。	被写体の捉え方、見せ方など意図に応じて工夫して表している。	身近な場所を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、場所のイメージなどを基に主題を生み出し、構図などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近な場所の特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。
	「絵画を見ること」 抽象画を見る		近代作家、カンディンスキー、ピカソ、ダリなどキュビズムを中心とした作品に鑑賞し、作者の表現の意図や作品に込めた思いを感じ取り、美術文化への見方や感じ方を深める。	近代作品の形や色彩などの性質や、それらが感情にもたらす効果をもとに作品について全体のイメージや作風で捉えることを理解している。			作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作品が描かれた背景などをもとに、当時の作者の表現の意図や工夫を考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に新たな創造を目指した作者の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	仮面制作 「仮面製作～もう一人の自分、ペルソナ～」	ユングの心理学「ペルソナ」と、世界の仮面の使われ方などの歴史を通して、人間だけが持つ感情に触れ、それを手がかりに、形や色、材料などの構想を練り工夫して制作する。	主題を持って素材の特性を理解し表現に繋げ、自分を掘り下げもう一人の自分を感じ取り表現する。	平面図から立体にしていく工程を体験し、美術作品のおもしろさや驚きを全体のイメージで捉えることを理解している。	粘土や紙、その他さまざまな材料の特性を作品の適所に生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	自分の想像を広げることで主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	想像から生まれたさまざまな作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、どんなところに表現のおもしろさを感じるかを考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	創造活動の喜びを味わい、主体的に自分の身の回りのものから発想を広げることで自分のオリジナルを表現する学習活動に取り組もうとしている。
3	「何のために仮面は作られた？」 仮面の歴史と日本の能 キャリア		西洋、東洋の芸術に関して違うところ、似ているところを感じる。 日本の仮面の歴史を通して美術文化への理解を深める。	形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、作品の造形的な特徴をもとに、日本の美術が西洋の美術に与えた影響や、日本や西洋の美術文化を全体のイメージで捉えることを理解している。			土地や歴史に根付き育まれてきた仮面の特徴や相違点を理解し、国際理解を深めることができ、それぞれのよさや美しさを感じ取り、日本の能が世界に与えた影響について考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に日本の美術が西洋の美術に与えた影響について考え、日本や西洋の美術作品について、よさや美しさを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	日常のアートな一枚(写真) その3	日常改めてて見つめ、感じ取った形や色彩の特徴、場所のイメージから主題を生み出し、構図や表現方法を工夫し写真に表現する。	見慣れた情景から気になる場所やものを見つけ出し、感じ取った形や色彩の特徴や場所のイメージから主題を生み出し、構図や表現方法を工夫し写真に表現する。	形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。	被写体の捉え方、見せ方など意図に応じて工夫して表している。	身近な場所を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、場所のイメージなどを基に主題を生み出し、構図などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近な場所の特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。

学 期	学習内容			評価の観点と評価標準					
	領域・題材	指導目標	指導内容	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
1 絵 画 制 作	オリエンテーション 風景画を描く 「自分空間」イメージの世界 遠近法を使った風景画	空想や夢、心の中の世界などから主題を生み出し、形や色彩、描くものや配置などの効果をえた上、空間表現を遠近法を自由に選択し、それらを意図に応じて表現すること自分の表現方法を追求して創造的に絵で表現する。	夢、想像や感情などの空想や心に広がる世界などを考えたり広げたりしながら主題を生み出し、それを基に新たなことを想像したり、さらに組み合わせたりしながら構想を練る。そして遠近法を使用し、遠近法の特性を生かし、意図に応じて創意工夫して表す。	ペンのタッチなどが感情にもたらす効果や、遠近法、線讐面など空間的な表現に加え具体物や抽象的な物の組み合わせなどを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	ペンのタッチや遠近法の技法などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	空想や心に広がる世界を基に主題を生み出し、形やペンのタッチ、描くものや配置などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	遠近法を学ぶことで絵画表現に关心を持って取り組み、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に空想や夢を基にした心の中の世界から構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	鑑賞 「印象派について」 西洋、東洋、双方の風景画	西洋及び日本の美術の文化遺産を鑑賞し、表現の相違と共通性に気付く、それぞれのよさや美しさを感じ取る。それぞれのよさや美しさ、創造力の豊かさなどを味わい、文化遺産を尊重するとともに、美術を通じた国際理解を深める。	西洋及び日本の美術を当時の作家はどのように観察し表現していくのか、作品を通して思いを深め、改めて理解し、日本の美術が西洋の美術文化を全体のイメージで捉えることを理解している。	形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、作品の造形的な特徴をもとに、日本の美術が西洋の美術に与えた影響(ジャポニズム)について考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。			日本や西洋の美術作品について、それらのよさや美しさを感じ取り、日本の美術が西洋の美術に与えた影響(ジャポニズム)について考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。		美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に日本の美術が西洋の美術に与えた影響について考え、日本や西洋の美術作品について、よさや美しさを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	気になる風景(写真)その1	日常改めて見つめ、感じ取った形や色彩の特徴、場所のイメージから主題を生み出し、構図や表現方法を工夫し写真に表現する	見慣れた情景から気になる場所やものを見つけて出し、感じ取った形や色彩の特徴や場所のイメージから主題を生み出し、構図や表現方法を工夫し写真に表現する	形や色、それらを組み合わせた構成や構図などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、日常とは異なる視点からあらわされた風景を全体のイメージで捉えることを理解している。	被写体の捉え方、見せ方など意図に応じて工夫して表している。	日常の風景を普段とは違った視点で見ることで主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考へ、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	日常とは異なる視点からあらわされた表現のおもしろさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に日常の風景を普段とは違った視点で見ることで主題を生み出し、表現を工夫して作品にあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に日常とは異なる視点からあらわされた表現のおもしろさを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
2	「自分のベストプレイス～観ることと描くこと～」 透明水彩技法による風景画	自分にとって心引かれる風景を見つけて活動を通して、美に対する感受性を高め、あらわしたい主題を明確にして形や色、構図などの構想を練り、水彩絵具の技法を駆使し形や色、構図などを工夫して制作する。	心に残る情景に、自分の感じたことをどう重ねてあらわすかを考え、表現方法を工夫して描く。	形や色、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、風景に重ねた思いを全体のイメージで捉えることを理解している。	自分があらわしたい心情に合った材料や用具を選択し、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	心に残る情景に、自分の感じたことをどう重ねてあらわすかを考えて主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考へ、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	風景を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者がどのような思いを重ねて描いたのかを考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に心に残る情景に、自分の感じたことを重ねてあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作者がどのような思いを重ねて風景を描いたのかを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	鑑賞 「人の思いを形にする」 風景画から心象風景へ	作品を鑑賞し時代の移り変わりと作品から感じる当時の作家たちの考え方や思いについて作者の意図や思いを感じ取る。	新しい価値を創作する当時の作家の色づかいや描き方などから表現の意図や工夫を感じ取る。	近代の作品がもつ形や色、光などが感情にもたらす効果や表現の造形的な特徴などの移り変わりとともに、作家が託した思いなどを全体のイメージや作風で捉えることを理解している。			絵画の歴史の移り変わりの中で、当時の作品の込められた思いを感じ取り、作者の表現の意図や工夫を考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。		美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作者の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	気になる風景(写真)その2	日常改めて見つめ、感じ取った形や色彩の特徴、場所のイメージから主題を生み出し、構図や表現方法を工夫し写真に表現する。	見慣れた情景から気になる場所やものを見つけて出し、感じ取った形や色彩の特徴や場所のイメージから主題を生み出し、構図や表現方法を工夫し写真に表現する。	形や色、それらを組み合わせた構成や構図などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、日常とは異なる視点からあらわされた風景を全体のイメージで捉えることを理解している。	自分があらわしたい風景に合った材料や用具を選択し、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	日常の風景を普段とは違った視点で見ることで主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考へ、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	日常とは異なる視点からあらわされた表現のおもしろさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に日常とは異なる視点からあらわされた表現のおもしろさを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に日常とは異なる視点からあらわされた表現のおもしろさを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
3 立 体 制 作	「目に見えないものを創る」 素材を工夫し抽象立体を制作する	目に見えないものの想像から生まれた表現をもつて、身の回りのものから想像を広げ、形や色を工夫して想像の立体をつくり、そこから生まれたさまざまな作品を鑑賞し、表現のおもしろさを感じ取る。	自分が感じる身の回りのものから発想を広げ、形や色を工夫して想像の立体をつくり、そこから生まれたさまざまな作品を鑑賞し、表現のおもしろさを感じ取る。	自分が感じる身の回りのものから発想を広げ、形や色を工夫して想像の立体に託した願いや思いを全体のイメージで捉えることを理解している。	与えられた材料の特性を生かし、さらに自分で作品に合う素材を組み合わせ、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	身の回りのものから想像を広げることで主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考へ、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	想像から生まれたさまざまな作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、どんなところに表現のおもしろさを感じるかを考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に身の回りのものから発想を広げ、想像の生物をつくる表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に想像から生まれたさまざまな作品から表現のおもしろさを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	鑑賞 「伝統工芸について」 現在の伝統工芸の現状を知る キャリア	生活の中のデザインや伝統的な工芸を鑑賞し、日本の豊かな発想と工夫、美と機能性の調和、作品に託された願いと造形的なよさなどを気付き、材料と土地との関わり、形や色に見られる日本文化を感じ取る。感じしたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方を深める。	伝統工芸の持つ形や色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、伝統工芸の職人の受け継がれる技など、全体のイメージで捉えることを理解している。				地域に受け継がれてきた表現などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り、地域ごとの文化の相違点や共通点に気づき、地域の文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めている。		美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に地域に受け継がれてきた伝統や文化のよさや美しさを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	「今の自分の最高な一枚」 自分の写真を撮る	自撮り写真など自分をあらわした作品に関心をもち、今の自分や将来の自分を深く見つめ感じ取ったことや考えたことをもとに主題を生み出す。その主題をもとに、形や色、構図などの構想を練り、構図などを工夫して制作する。	今の自分や将来の自分をテーマに、表現方法を工夫して自分自身を作品にあらわし、その作品を鑑賞し、作者の思いや表現の工夫を感じ取る。	形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、自分らしさや描かれた自分に託した思いなどを全体のイメージで捉えることを理解している。	自分のあらわしたい表現に合った材料や用具を選択し、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	今の自分や将来の自分を深く見つめ感じ取ったことや考えたことをもとに主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考へ、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	自分をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の思いや表現の工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に今の自分や将来の自分をテーマに自分自身を作品にあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自画像などの自分をあらわした作品から、作者の思いや表現の工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

学 期	学習内容			評価の観点と評価規準					
	領域・題材	指導目標	指導内容	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
1	オリエンテーション 「見たことのない自分を発見 ～写真を利用したポスタリゼーション～」 イラスト調自画像を描く キャリア	自分をあらわした作品に関心をもち、今を生きる自分や将来なりたい自分などを考え、主題を生み出す。	デザインの配色を色相から自分の主題を見つけ出し、それをもとに、形や色、構図などの構想を練り、形や色、構図などを工夫して制作する。	知識(知) 美しいグラデーションと表情の表現を工夫して創造的に表している。 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、自分らしさや描かれた自分に託した思いなどを全体のイメージで捉えている。	技能(技) 自分の顔写真を区分、転写を工夫して作品として構想することができ、あらわしたい表現に合った材料や用具を選択し、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	発想・構想(発) 今の自分や将来の自分を深く見つめ感じたことや考えたことをもとに主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	鑑賞(鑑) 自画像などの自分をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の思いや表現の工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	表現(態表) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に今の自分や将来の自分をテーマに自分自身を作品にあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	鑑賞(感鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自画像などの自分をあらわした作品から、作者の思いや表現の工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	鑑賞 「ポップアート」 現代作家の視点を変えた表現に触れる	作品を鑑賞し時代の移り変わりと作品から感じる当時の作家たちの考え方や思いについて作者の意図や思いを感じ取る。	新しい価値を創作する現代の作家の色づかいや描き方などから表現の意図や工夫を感じ取る。	現代の作品がもつ「大衆」というテーマからなる形や色、光などが感情にもたらす効果や表現の造形的な特徴などの移り変わりとともに、作家が託した思いなどを全体のイメージや作風で捉えることを理解している。			絵画の歴史の移り変わりの中で、現代の作品の込められた思いを感じ取り、作者の表現の意図や工夫を考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。		美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作者の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	卒業制作 絵画 「私だけの額」 卒業記念となる額作り	最終学年としての記念になる作品を意識してこれまでの経験を生かし、主題をもとに形や色、材料などの構想を練り、装飾する中に創作を取り入れ工夫して制作する。	額作りを通して、作品を「表現」する過程と出来上がった作品を飾る「鑑賞」の両側面に意識し、形や色を考へ作品にあらわす。	額の形や色、材料、光などが中の作品ににもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、作品と場所との関係を全体のイメージで捉えることを理解している。	既存の概念にとらわれない自由な思考を持つて、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	中の作品を装飾することを意識することで主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	造形的なよさや美しさを感じ取り、額と場所との関係から、作品と環境との調和を考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に展示する境を意識して作品にあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に額と場所との関係に着目し、作品と環境との調和を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
2	「額と西洋絵画の関係とは？」 西洋絵画の歴史に触れる	西洋絵画と額との時代の移り変わりと作品を鑑賞し時代の移り変わりと作品から感じる当時の作家たちの考え方や思いについて作者の意図や思いを感じ取る。	額の歴史と絵画の歴史の関係を通して新しい価値を創作する当時の作家の色づかいや描き方などから表現の意図や工夫を感じ取る。	額の歴史と絵画の歴史の関係を通して作品がもつ形や色、光などが感情にもたらす効果や表現の造形的な特徴などの移り変わりとともに、作家が託した思いなどを全体のイメージや作風で捉えることを理解している。			額の歴史と絵画の歴史の移り変わりの中で、当時の作品の込められた思いを感じ取り、作者の表現の意図や工夫を考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。		額の歴史と絵画の歴史の関係を通して創造活動の喜びを味わい、主体的に作者の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	「自分のマーク、印を作る」 篆刻製作	卒業作品として最後の作品として思いを込めて自分の名前の篆書体を調べることで書体に興味を持ち、さらに自分のしるしをデザインをする事で、落款への関わりから主題を生み出す。 主題をもとに、形や色、構成などの構想を練り、形や色、構成などを工夫して制作する。	篆刻の歴史と印の意味を理解し、作品に自分の想いを込め、興味をもつて工夫してあらわす。	形や色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、伝わりやすく、わかりやすいデザインを全体のイメージで捉えることを理解している。	意図に応じて表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的にあらわしている。	印の目的などをもとに、自分の印として伝える相手や内容、印を残すという社会との関わりなどから主題を生み出し、形と色の組み合わせの効果や、わかりやすさと美しさの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。	自分をわかりやすく伝えるデザインの調和のとれ印の目的などをもとに、自分の印として伝える相手や内容、印を残すという社会との関わりなどから主題を生み出し、形と色の組み合わせの効果や、わかりやすさと美しさの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に何を伝えるかを考え、自分の名前をデザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自分の印をわかりやすく伝えるための工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
3	鑑賞 「アートのある生活を」 現代美術、アール・ブリュットに触れる キャリア	現代アートの多様な表現には作家個人の思想や、集団で表現するものがあるということを理解し、見方や感じ方を深める。感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方を広げる。	現代に生きる人のさまざまな思いを形にする作品を鑑賞し、生の芸術について全体のイメージで捉えることを理解している。	形や色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、生の芸術の表現を全体のイメージで捉えることを理解している。			これまで培ってきた感性や想像力を働かせ、今生きるアーティストの心情や意図と作品の想像的な工夫に理解し、作品から自分なりの感情やイメージを生み出すなどして、見方や感じ方を深めている。		美術作品の良さや美しさなどを主体的に自分の感情や生涯美術を身近に感じる心豊かな生活を想像することができるイメージを生み出す鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。